NPO 法人
ピンクリボンながさき便り
第 ４ 号
２０１３年7月２０日発行
（年３回発行）

ごあいさつ　　理事長　内海文子

暑中お見舞い申し上げます。真夏日が続くようになりましたので、熱中症にはくれぐれもご留意いただきたいと思います。

ＮＰＯ法人ピンクリボンながさきもこの活動を始めて、９ 年目を迎えました。会員数は現在 85 名です。目標を 100 名に設定して、現在募集中です。

今年のピンクリボンフェスタは、11 月 23 日、ハウステンボスでミス・ユニバースコンテストとコラボして開催したいと思っています。女性の美は、知性と健康が基盤となって外見もさらに美しく輝きを増すと思います。フェスタに参加して、知性と健康美にあふれるミス・ユニバース長崎県代表を見ることができると思います。

６ 月 27 日、長崎市で「ちゃんぽんミーティング」がありました。当法人からも２ 名参加し、女性が力を発揮するためには心身ともに健康でなければならない、特に「乳がん、子宮がんは若い女性に多く発症しているので早期発見のための検診を受けよう！」というコンセプトのもとに参加しました。この趣旨に田上市長さんはじめ、ミーティング参加者も賛同していただきました。来年度は長崎市でピンクリボンフェスタを開催する予定ですので、会員の皆様のご支援をよろしくお願い致します。

厚生労働省では、がん対策推進基本計画を策定し、全国にがん診療拠点病院をがん医療およびがん患者の様々な課題に取り組んでいます。第 1 期は平成 19 年 6 月に制定され、全体目標として、①がんによる死亡者の減少、②すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上があげられ対策に取り組まれました。５ 年が経過し、平成 24 年６月から第２期がはじまり全体目標に、第１期の①と②にくわえて、③がんになっても安心して暮らせる社会の構築、があげられました。

「がんになっても安心して暮らせる社会」とはどのような社会でしょうか？緩和ケアが充実していること、がん患者と家族が孤独に陥ることのないように相談支援が充実していること、さらにがん患者や経験者が就労など社会的な問題に直面しないことなどは重要な課題であり、まだまだ不十分な点が多いと思います。がん治療も進歩し５年生存率も６０％以上で、がんを克服する方も多くなりました。がんになったからといって人間として能力や人格は何も変わらないのに、会社の面接で「がん」という言葉を聞いたとたん、人事担当者の態度がかわったということをお聞きしたこともあります。

「患者さんの声」欄には、がん患者の就労問題に取り組まれている後田さんの体験記を掲載しました。現在は就労問題カウンセリングにも取り組んでおられます。

暑い日々ですが、がん医療・看護を充実させるために取り組んでいきたいと思います。

ミニ知識講座

がん医療におけるセカンド・オピニオン

がん患者が検査や治療を受けるにあたって、主治医からインフォームド・コンセントを受けるが、それに対して主治医以外の医師（第３者）に「意見」、または、「意見を求める行為」をいう。がん医療は治療効果だけでなく、ＱＯＬ（Quality of life）が重視され、治療を選択する権利が患者にあることが承認されているからである。費用は個人負担となる。

総会報告（２０１３年）

第６回総会開催
日時：平成２５年５月２３日（木）
　　１９：００～２０：００
会場：大村市コミュニティーセンター
　　２階第３会議室
出席１５名　委任状５６名　会員数８８名
（＊会員の１/３以上の出席（委任状含む）をもって成立となります。）

●平成２４年度事業報告
　講演会活動７回、理事長のテレビ出演１回、啓発ブース出展５回、イベント参加による啓発運動、ピンクリボンラッピングバス運行準備および出発式、ピンクリボンながさき便り２号および３号発行、インターネットによる啓発活動、乳がん啓発パンフレットの作成と配布、ピンクリボンフェスタひらど 2012 開催、諸会議への出席等を資料に基づいて説明した。

●平成２４年度収支報告
　九州ろうきんから年間 100 万の助成を受けている。助成金がないと運営が難しい。

●平成２５年度事業計画・収支予算
　承認可決された。

●定款の変更について
　特定非営利活動促進法（NPO 法）の改正に伴う定款の変更を行う旨、了承を得る。

●役員選出について
　新任の２名、氏田美知子、中尾理恵子の就任について、了承を得る。

２０１３年事業計画

　今年度は、ピンクリボンフェスタを佐世保市のハウステンボスで実施予定。ミスユニバースの長崎県代表コンテストに合わせて、マンモグラフィ無料検診やイベントを行う予定。

<定款事業>
（１）乳がんや乳がん検診に関する知識の啓発とその普及事業
　①ピンクリボン運動に関する講演会活動
　②啓発ブース出展による啓発活動
　③イベント参加による啓発活動
　④インターネットによる啓発活動
　⑤乳がん啓発パンフレットの作成及び配布
（２）乳がんや乳がん検診に関するイベント
　『ピンクリボンフェスタハウステンボス 2013』を予定。講演会、マンモグラフィ無料検診、乳がんや乳がん検診に関する情報提供、コンサートなど

平成２５年度予算について

Ⅰ．経常収入の部		
１．会費収入		
正会員・賛助会員		200,000
２．事業収入		
啓発普及事業収入		30,000
イベント事業収入		0
助成金（ろうきん）		1,000,000
３．寄付収入		100,000
収入合計		1,330,000
Ⅱ．経常支出の部		
１．事業費		
啓発活動事業費		473,000
イベント事業費		413,000
２．管理費		444,000
支出合計		1,330,000
経常収支差額		0
前期繰越収支差額		1,074,679
次期繰越収支差額		1,074,679

　今年度はピンクリボンラッピングバス運行費２０万円の支出もあり。予算的に厳しい。

ピンクリボンフェスタ inハウステンボス 開催のお知らせ

開催日：平成２５年１１月２３日（土・祝）
時　間：１３：００～（予定）
場　所：ハウステンボス内ユトレヒト（佐世保市）
講演会：前田茂人先生（長崎医療センター）
乳がん関係：乳がんパネル展示・マンモグラフィー無料検診５０名・乳がん細胞診展示・乳がん自己検診コーナー・専門医による乳がん相談　等

●ドムトールンをピンクに染めたい！！

～乳がん体験者の声～

乳がんと就労

後田　侑樹（キャリアカウンセラー）

私が乳がんの可能性があると告知を受けたのは、今からちょうど８年前の３月で就職活動の真っ最中でした。

何社企業に応募しても書類選考で落ちてしまったり、面接まで選考が進んでも採用に至らなかったり、そんなことが続いていくと、まるで自分が世の中から「不要な人間」と評価されているような気がして、ひどく落ち込むこともあり、「こんな自分、もういっそいなくなればいいのに！」と自暴自棄になっている時だったのです。

当時は、自分の中でがん（乳がん）＝死という思い込みがあり、がんかもしれないと医師に言われたときには、「私、死んじゃうの？」と頭が真っ白になりました。

勝手なもので、「就職先が見つからないから、もうどうなってもいいや（死んでもいい）」とまで思っていたのに、いざ自分の命が脅かされるとそんな考えは一瞬で吹き飛んでしまい、医師に「私の命を助けてください！」と必死に命乞いをしていました。

それから命を救うため、左胸のがんと疑わしい箇所の切開後、検査をしてがんと判明した場合その場で摘出するという説明を受け、４月の上旬に手術室に入りました。

残念ながら、やはり左胸はがんだったため、体から切り離し、30 代半ばで私は片方の胸を失ってしまいました。

でも胸を残すことより、命を優先したのでそのことについては今も後悔はありません。しかしがんとの闘いはその後も続いたのです。

手術時に摘出したがん細胞を病理検査に出して術後の治療内容が決まるのですが、退院までの間、同じ病気で入院している患者同士で治療の情報交換が行われ、私も自分が抗がん剤治療となった場合の心身や経済的負担について深く考えました。やはり先立つものは必要だから、退院後はすぐに仕事を探して働かないといけない、治療の副作用で髪の毛が抜けるかもしれないから医療用のかつらを用意しないといけないかもしれない、など不安の種はつきませんでした。

退院した翌日にはハローワークへ行って、ある求人に応募し、書類選考を通過しました。面接となったとき、乳がんのことを話すべきかどうかとても迷いました。もし話した結果、それが原因で不採用になってしまったら嫌だと思ったからです。一方で病気のことを隠して採用された後に、もし抗がん剤治療を受けなければいけなくなった場合、治療のため仕事を頻繁に休むことで隠し事がばれてしまうことや、職場の方々にご迷惑をおかけしてしまうかもしれない不安もありました。いろいろ考えていくうちに、何も悪いことをしていない自分が、何故このような後ろめたい思いをしなければならないのかと、情けない気持ちでいっぱいになりました。結局そのときの面接では病気のことは言いませんでしたが、内定をいただき最後に経営者との面談を受けることになったときに、やはり黙っているのはよくないと考え思い切って打ち明けました。

先方は 70 代くらいの男性でした。自分の病気のこと、治療のため仕事を休む可能性があるかもしれないことを話すとそれまでの和やかな雰囲気が一変してしまい、その男性は私の胸を無遠慮に見た後に、足元から頭の先まで、まるで化け物を見るような、なんとも言えない恐怖と侮蔑の入り混じった視線を送ってきました。それは人間に向けるものではなく、あの表情は８年たった今でも鮮明に覚えています。私はそのとき差別を受けているのだと感じました。後日「内定を取り消す」と電話で連絡を受けて、結局その会社は不採用となり、「生きたい」と思ってがんばってきたにも関わらず、このような思いをしなければならない自分の人生に絶望を感じました。

病院では企業へのがん告知についての不安を訴えても「自分達ではどうしようもない」と言われ、私は孤独の中で戦い続け、８ヶ月かけてある会社にやっとの思いで就職することができました。

当時より時間も経ち、乳がんへの理解も進んでいることと思いますが、現状は未だ厳しく私と同じ思いをしている方は多いと聞きます。乳がん治療には多額のお金を必要とすることもあり、そのためには働かなくてはなりません。患者自身も自分のその時の体調で就労が可能か医師と相談し、考えた上で就職活動を行う必要がありますが、企業にも病気の告知があった場合は先入観にとらわれず、話を聴いた上で就労が可能か判断していただけることを願ってやみません。

乳がんと戦いながら就職活動をしている中で、悩みや聴いてほしいことがある方にキャリアカウンセリングを無料で行っております。履歴書や職務経歴書の書き方についてもご希望の方にはアドバイスをいたします。面談方法など詳細についてご案内いたしますので、まずは下記アドレスまでご連絡ください。

Ｅメールアドレス：ochibi4443@yahoo.co.jp
産業カウンセラー・キャリアカウンセラー
後田　侑樹（うしろだ　ゆき）

イベント案内

■「ソロプチミスト大村」講演会

期　日：平成 25 年 1 月 26 日(土)
　　15 時～15 時 40 分
場　所：ソロプチミスト大村（大村市）
参加者：40 名
内　容：女性がん予防のすすめ、がんの成り立ちと予防、子宮頸がん予防、乳がん早期発見、乳房モデルにて乳がん自己検診法

■「フコク生命」講演会

期　日：平成 25 年 1 月 30 日(水)
　　10 時 30 分～11 時 30 分
場　所：フコク生命諫早営業所（諫早市）
参加者：43 名
内　容：女性がん予防のすすめ、がんの成り立ちと予防、子宮頸がん予防、乳がん早期発見、乳房モデルにて自己検診

■「活水高校」講演会

期　日：平成 25 年 2 月 6 日(水)
　　9 時 20 分～11 時
場　所：活水高等学校（大村市）
参加者：162 名
内　容：女性がん予防の成り立ち、がんの成り立ちと予防、子宮頸がん予防、乳がん早期発見、乳房モデルによる自己検診法指導、がん予防に関する知識

■「大村藩宿場祭り」ブース出展

期　日：平成 25 年 2 月 11 日(月・祝)
　　8 時～16 時
場　所：大村市民会館駐車場（大村市）
参加者：48 名
内　容：ブース出展、大村市国保健康課と協賛、パネル展示、乳房モデルによる自己検診法

■「西彼杵郵便局がん早期発見推進キャンペーン」ブース出展

期　日：平成 25 年 3 月 8 日(金)10 時～15 時
場　所：西彼杵郵便局（長与町）
参加者：20 名
内　容：パネル展示、ブース出展、乳房モデルによる自己検診法、がん相談、がん予防に関する知識・展示

■「ピンクリボン号」出発セレモニー

期　日：平成 25 年 3 月 29 日(金)
　　13 時 30 分～14 時
場　所：長崎バス安全教育センター（長崎市）

運行期間：平成 25 年 4 月 1 日
　　～平成 26 年 3 月末日
運行路線：大橋営業所・ダイヤランド営業所路線、中央橋～虹之丘、下大橋～ダイヤランド
運行台数：1 台（長崎バス）

協賛企業：聖フランシスコ病院、大久保病院、長崎県看護協会、九州医学技術専門学校、長崎県健康事業団、長崎掖済会病院、長崎原爆病院、山下医科器械株式会社

■「活水女子大学」講演会

期　日：平成 25 年 5 月 15 日(水)18 時～19 時
場　所：活水女子大学小講義室（大村市）
参加者：12 名
内　容：女性がん予防について講演、がん予防に関する知識について、乳房モデルによる自己検診法

■「看護の日」ブース出展

期　日：平成 25 年 5 月 18 日(土)9 時～17 時
場　所：諫早文化会館（諫早市）
参加者：50 名
内　容：長崎県央看護協会主催、看護の日ザ！諫早、ブース出展、パネルにて乳がんについて説明、乳房モデルにて自己検診法

■「明治安田生命」講演会

期　日：平成 25 年 6 月 4 日(火)
　　13 時 30 分～15 時 30 分
場　所：長崎市商工会議所（長崎市）
参加者：50 名
内　容：講演、女性のがん予防について（乳がん、子宮頸がん）、乳房モデルによる自己検診法、ピンクリボンながさきの活動について

Information
会員の皆さまへ

●会員の皆様からご意見や記事を募集しています。
●賛助会員を募集しています。
寄附１０００円以上をお寄せいただいた方には、ピンクリボンながさきのピンを差し上げております。

家族愛、乳房愛、夫婦愛の３色を表しています。その３色で中央がハート形になって愛を表しています。

ピンクリボンながさきのバッジ

編集後記

発行は年３回を予定しています。紙面の充実とホームページの更新も頑張って参ります。

マンモグラフィ検診を受けましょう
～あなたとあなたの家族のために～

NPO 法人ピンクリボンながさき
〒８５６－００４５
長崎県大村市向木場町１７９９
TEL・FAX：０９５７－４７－８５９５
メール：n-pinkribbon@oboe.ocn.ne.jp
ＵＲＬ：http://pinkribbon-nagasaki.jp/